

### 授業概要

他の司書課程科目での学修を踏まえ、実際の図書館および図書についての理解を深め、あわせて図書館員に必要なプレゼンテーション技術の向上を目指して指導します。

受講者の実践を前提に、プレゼンテーションとディスカッションを中心とした授業をします。

### 授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	プレゼンテーションの基礎 1.内容の用意と演じる準備
第3回	プレゼンテーションの基礎 2.発表と聴講
第4回	図書館に関する情報の収集 1.方法の説明
第5回	図書館に関する情報の収集 2.プレゼンテーションの準備
第6回	図書館に関する情報の収集 3.プレゼンテーションの実施
第7回	利用者としての図書館訪問 1.方法の説明
第8回	利用者としての図書館訪問 2.プレゼンテーションの準備
第9回	利用者としての図書館訪問 3.プレゼンテーションの実施
第10回	図書に関する基礎知識 1.方法の説明、輪読と輪講
第11回	図書に関する基礎知識 2.輪読と輪講
第12回	図書に関する基礎知識 3.輪読と輪講、この節のまとめ
第13回	図書館関連団体や関連イベントへの参加 1.方法の説明
第14回	図書館関連団体や関連イベントへの参加 2.プレゼンテーションの準備
第15回	図書館関連団体や関連イベントへの参加 3.プレゼンテーションの実施
第16回	まとめと報告

### 到達目標

以下の理解を中心に、図書館員の職務につくことを前提に実践的な授業を進めます。

1) 図書館および図書その他関連する事項についての情報収集方法、2) 図書館に関連する団体・組織、また図書館関連のイベントの活用法、3) 他者との情報共有手段としてのプレゼンテーションやディスカッションに関する技法。

### 履修上の注意

実際に各自の作業を通じて学ぶので、能動的・主体的な参加が求められます。

司書課程の中でも応用的な科目です。昨年度以前に司書課程の履修を開始していることを条件とします。とりわけ「図書館概論」の履修を経験していることが望めます。

履修者数が想定とことなる場合、課題数、進行および評価方法を変えることがあります。

必要に応じて、PC教室やメディアセンターなどの学内施設を利用します。

### 予習復習

各課題について、授業の前に事前に作業を進めてください。

講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

授業中に終わられなかった課題は、次回までにおこなっておいてください。

### 評価方法

プレゼンテーションと課題レポート(40%・必須)および演習での状況(60%)を主とします。自発的に関連内容のレポートを提出した場合、演習での状況に反映します。

### テキスト

- ・教科書名：本の知識
  - ・著者名：日本エディタースクール編
  - ・出版社名：日本エディタースクール出版部
  - ・出版年 (ISBN)：2009 (ISBN978-4-88888285-6)
- そのほか適宜必要な資料を配布します。